

嘉手納町教育委員会からの緊急メッセージ ～子どもたちを薬物の脅威から守りましょう～

嘉手納町教育委員会

町民の皆様、そして大切なお子様を持つ保護者の皆様へ

現在、沖縄県内の若者の間で、「エトミデート」をはじめとする指定薬物の乱用が全国最多となり、極めて深刻な状況です。地理的・社会的な特性を持つ嘉手納町も例外ではありません。

若年層の摘発が過去最多となり、10代・20代が全体の約7割を占める現実には、薬物が私たちの「すぐそこ」まで忍び寄っていることを示しています。これらの薬物は「軽い気持ち」で手を出しても、意識障害や痙攣（けいれん）といった凄惨な症状を引き起こし、人生そのものを破壊します。

薬物の取引は巧妙化しており、学校や家庭の努力だけでは防ぎきれません。町民全員が「本町から一人も薬物乱用者を出さない」という強い決意を共有し、連携を強化しなければなりません。

ついては、以下の具体的な取り組みを徹底し、子どもたちの未来を守りましょう。

1 学校での取り組み（教育と連携）

(1) 教育の徹底

- 薬物の恐ろしさと断り方を教える乱用防止教室を継続的に実施します。

(2) 早期発見

- 生徒の小さな異変や悩みを察知できる体制を強化します。

(3) 情報共有

- 警察署などの外部機関と緊密に連携し、情報を迅速に共有します。

2 家庭・保護者での実践（日頃の見守り）

(1) 原則の共有

- 薬物を「買わない、使わない、関わらない」を具体的にお子様と共有します。

(2) 変化への注意

- お子様の服装、交友、SNS利用など、小さな変化を見逃さず対話で見守ります。

(3) 通報・相談

- 異変や情報を得た際は、学校や嘉手納警察署に速やかに相談・通報します。

3 地域での取り組み（環境の浄化）

(1) 居場所の提供

- 子どもたちが孤立しないよう、温かい居場所や活動の場を確保します。

(2) 環境浄化

- 薬物や非行につながる危険な場所の見回りと浄化に協力します。

(3) 啓発協力

- 薬物乱用防止の広報活動に協力し、地域で危機意識を共有します。

皆様のご理解とご協力が、子どもたちの命と未来を守る確かな力となります。